VMC-3359H型 Middle （n連棟）

建築面積	19.07 × n m²（5.77 × n坪）	（間口柱芯寸法）×（奥行柱芯寸法）

構造耐力上主要な部分の部材

部　材　名	形　　状	板　厚	使用材料	有効細長比
前　　柱	□-85 × 115	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	70.0
後　　柱	⌊-115 × 115	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	55.0
中 柱（左右）	□-85 × 84	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	76.6
後　柱（中）	□-85 × 84	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	74.5
前　柱（中）	□-85 × 85	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	81.1
中　柱（中）	□-85 × 85	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	78.3
桁　　前	?-336.5 × 79	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁　　中	⊏-182.5 × 79	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁　　後	⊏-155 × 85	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
梁	I-310 × 114	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
壁パネル	～-25 × 701(350.5)	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
ブレース	――	7.0φ	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	
ターンバックル	――	7.0φ用	JIS A5541建築用ターンバックル胴 STKM	
アンカープレート	――	6.0mm 9.0mm	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	

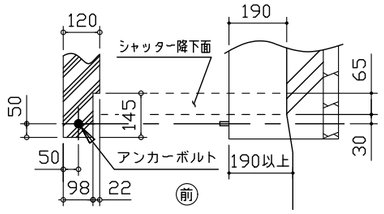
構造耐力上主要な部分以外の部材

部　材　名	形　　状	板　厚	使用材料
上　　枠	⌈-430 × 55	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
下　　枠	⊓-81 × 64	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
中柱カバー	⌣-26 × 145	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
間　　柱	⊏-31 × 24	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
結露低減材付屋根	～-88 × 600	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
シャッタースラット	⌈-14.5 × 71	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
天 井 下 地	⊏-45 × 80	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
内 壁 材	⊸-178 × 10	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
天 井 材	⊸-178 × 10	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
鼻 隠 し 前	⊐-130 × 98	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
鼻 隠 し 後	⊏-122 × 48	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
ケ ラ バ	⊓-137 × 135.5	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
柱 化 粧 前	⊃-167 × 139.5	0.8mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
柱 化 粧 後	⊂-110 × 85	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
柱 化 粧 中	⊐-124 × 110	0.8mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
軒 材	!-139.5 × 55	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
外 壁 材	⊸-186.5 × 18	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC

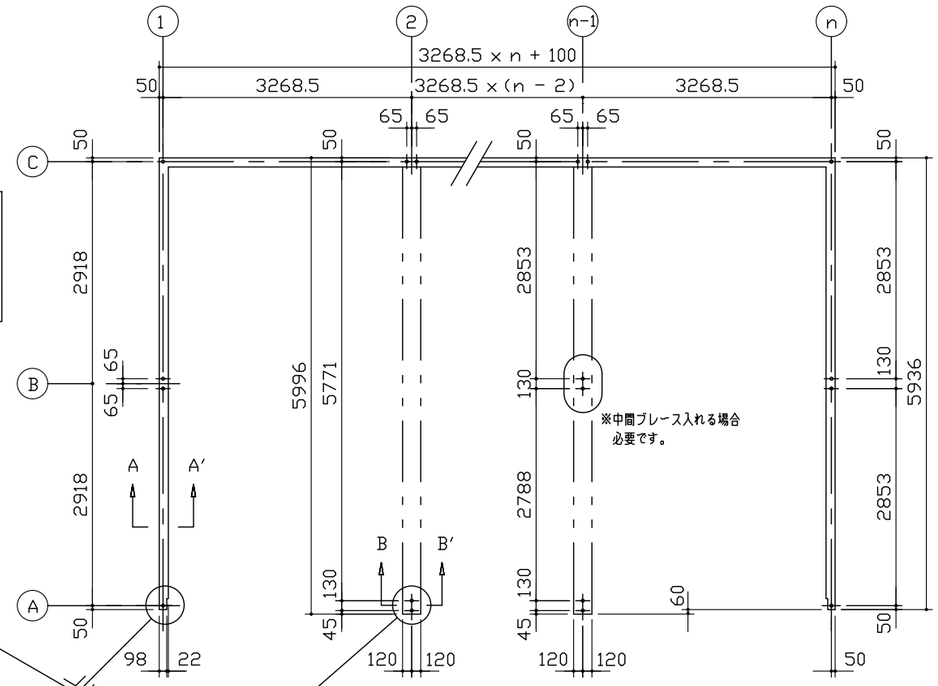
・連棟する場合、強度上、連結部に中間ブレース、もしくは間仕切りセットが必要になります。
詳細は最寄りの営業所にお問い合わせください。

シャッター降下面は土間を水平に仕上げてください。

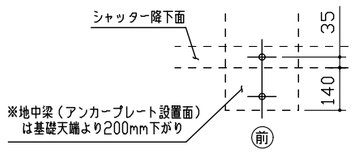
＜特記事項＞
・シャッター降下面の土間仕上げについては基礎天端より190mm下がりとしてください。
・シャッター降下面より前側の土間仕上げについては基礎天端より190mm以上の下がりとしてください。（200mm目安）



シャッター部分詳細図
（ S =1/20 ）



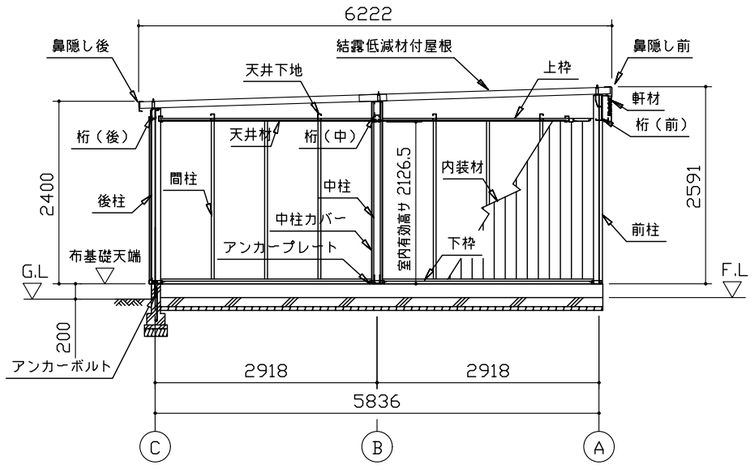
布 基 礎 伏 図 （S= 1/80）



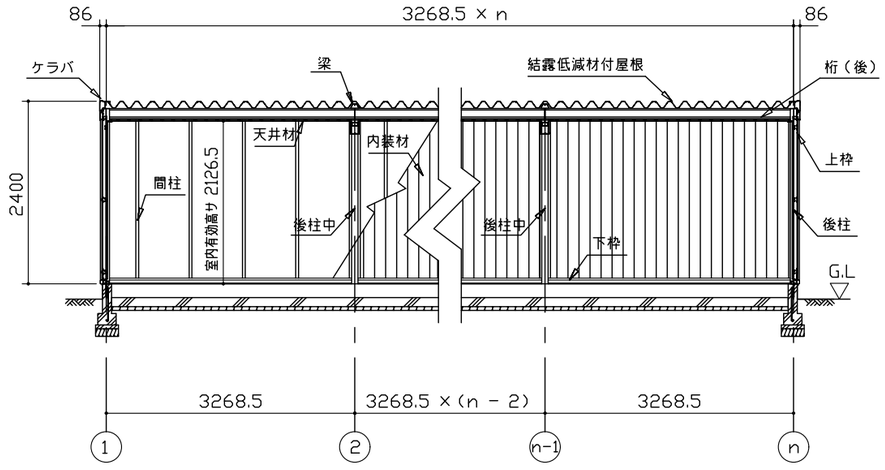
シャッター部分詳細図
（ S =1/20 ）

・布基礎断面図　縮尺=1/20
（地耐力　50KN/m²以上,コンクリート設計基準強度　18N/mm² 以上
基準風速 34m/s，地表面粗度区分Ⅲ）

＜上記条件での参考図です。＞
注１)地耐力が 50kN/m² 未満（30kN/m² 以上）の場合は、地耐力に応じた基礎を設計して下さい。
注２)寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。
注３)その他現地の実情にあわせて設計して下さい。

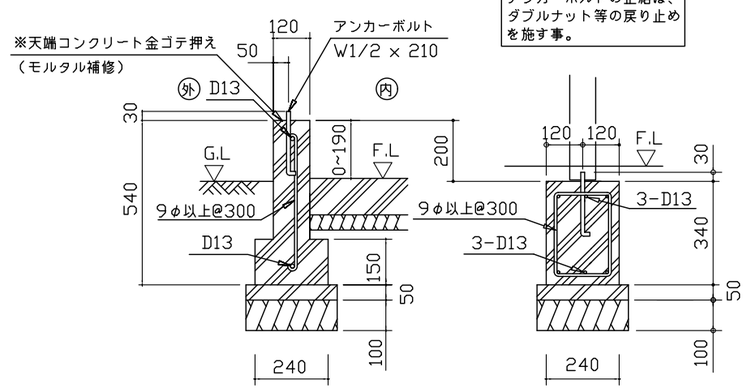


側 面 断 面 図（S= 1/80）



正 面 断 面 図（S= 1/80）

アンカーボルトの止結は、ダブルナット等の戻り止めを施す事。



A ～ A′断面　　B ～ B′断面

° 有効高サハ、基礎高サヲ含ミマセン。

名　称	ヨドガレージ ラヴィージュⅢ	株式会社 ヨドコウ
機種名	VMC-3359H 型 Middle（n連棟）	

＜VMC−3359HM−N−B_0Y.DXF＞